

## GCOE特別講演会報告書

開催日時： 4月14日（火）午後4時30分～6時30分

開催場所： 理学部6号館2階202号室

講師： スイス連邦工科大学 教授 Manfred Schlosser

演題： Organometallic Chemistry of Main Group Elements

Manfred Schlosser 教授は、有機リン化学、有機フッ素化学、有機典型金属化学の分野に精通しており、それらを組み合わせたユニークな研究を展開させている。この分野では、ヨーロッパでも著名な化学者の一人であり、Wittig 反応では「schlosser 改良法」を生み出し、また、「Schlosser 塩基」の発明者でもあり、他の研究者にインパクトを与えている。今回の講演では、ポリハロ芳香族化合物の選択的メタル化反応を数多くの反応例で示し、どの芳香環の水素を選択的にメタル化するには、どういうメタル化剤を使えば良いか詳細に検討している。ヨーロッパの化学者の研究らしく、自分の基礎研究をどこまでも追求する姿勢は学生や博士研究員に深い感動を与えたものと思われる。こういった知見は医薬、農薬のドラッグデザインを行なう上でとても重要な情報が得られるため、そういった可能性についても本講演で言及して頂いた。

大学院理学研究科化学専攻有機化学系研究室（有機化学・有機合成化学・集合有機分子機能）、大学院工学研究科材料化学専攻有機化学系研究室（機能材料設計学・有機反応化学）、化学研究所物質創製化学研究系研究室（有機元素化学）より、教員、ポスドク約12名、学生約25名の参加があった。

